

長崎

市区町村名	木の名前	木の画像	花の名前	花の画像	コメント・備考	入力日
五島市	アコウ		ハマユウ			2007/10/29
南島原市	あこう		ひまわり		<p>平成18年3月に合併して誕生した「南島原市」の木・花は同年9月、選考委員会の答申を受け、次の理由で決定しました。</p> <p>あこう…温暖な気候の海岸に自生する「あこう」はふるさとの大地に力強く根を張り、荒波や暴風から街を守り、木陰は安らぎと憩いの場を与えてくれる。これからの南島原市が大地に根を張り、未来に向かって手を伸ばし、安心して住める街を市民と協働で創り上げていく象徴となるため。</p> <p>ひまわり…輝く太陽に向かって力強く伸び、あたたかな日差しを浴びて咲く黄色い「ひまわり」はみんなに幸福と元気をもたらす花である。南島原市のキャッチフレーズ「南向きに生きよう！」に一番あっているため。</p>	2007/10/30
対馬	ひとつばたご		玄海つつじ			2007/11/1
鹿町町	かし		つつじ			2007/11/8
佐世保市	ハナミズキ		カノコユリ		<p>佐世保市の「市の木」である『ハナミズキ』は、平成元年5月15日に制定されました。『ハナミズキ』はアメリカ原産のミズキ科の樹木です。日本に渡来したのは、大正初年で東京市長がアメリカのワシントンに桜を寄贈した際、その返礼として大正4年に日本に送られたのが最初と言われています。4月から5月、パステルカラーの紅白の花から受ける印象は明るく都市的であり、その姿はアメリカの桜といわれるだけあって見ごたえがあります。市内の主な植栽場所としては、佐世保川沿いの道路、花の森公園、佐世保公園などがあります。</p> <p>佐世保市の花であるカノコユリは六つの花弁がめくられるように反った大輪のユリである。佐世保市では、平成14年4月に市制施行100周年を記念して「市の花」に制定されました。『カノコユリ』は、国内では絶滅も心配されていますが、佐世保市では、南九十九島一帯、世知原町、吉井町、里美町など海岸から山地まで、局所的ですが広く分布しています。和名由来の「鹿の子斑点」が、九十九島の島姿を連想させ、島々に咲くその風景は九十九島の美しさを一層引き立てています。</p>	2007/11/21